

令和6年6月 教育委員会会議録

〈 開会 10時00分 〉

開催日	令和6年6月27日(木) 10時00分～12時00分			
開催場所	半田市役所 庁議室			
出席委員	教育長 鈴川慶光	委員 桂優子	委員 新美大	委員 久米宏和
	委員 正村日登美	委員 堀崎隆資		
説明のため出席した職員	教育部長 森田知幸	学校教育課長 内藤誠	主任指導主事 木下稔章	指導主事 高下隆史
	給食センター所長 榊原秀夫	生涯学習課長 青木美希	スポーツ課長 加藤計志	スポーツ課主幹 石川昌弘
	図書館長 藤井寿芳	博物館長 関正樹	新美南吉記念館長 遠山光嗣	
事務局	学校教育課総務担当主査 羽根 広			
報告事項	<p>■報告事項</p> <p>(1) 令和6年6月半田市議会定例会の報告について</p> <p>(2) 寄附、後援願等について</p> <p>(3) 令和6年度 半田市教育研修会・講演会について</p> <p>(4) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について</p> <p>(5) 半田市学校給食運営協議会委員の委嘱について</p> <p>(6) 半田市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について</p> <p>(7) 令和6年度地区公民館職員の異動について</p> <p>(8) 第78回半田市スポーツ大会の日程について</p> <p>(9) はんだシティマラソン 2024 の開催について</p> <p>(10) 愛知駅伝半田市代表選手の募集及び練習会等について</p> <p>(11) 半田市立図書館及び半田市立亀崎図書館の休館について</p> <p>(12) 各種事業について</p> <p>①「ものづくり教室」の開催について</p> <p>②「まなびとゼミ 夏いち体験講座」の開催について</p> <p>③「令和6年度子ども科学体験教室」の開催について</p> <p>④【第2期】スタンプラリーについて</p> <p>⑤新美南吉読書感想画コンクールについて</p> <p>⑥「夏休みは図書館へ行こう」(夏休みの図書館行事)について</p> <p>⑦博物館講座「化石を発掘しよう!～木の葉化石編～」について</p> <p>⑧旧中埜家住宅オリジナルポストカード・飛び出すカード型紙のプレゼントについて</p> <p>⑨新美南吉生誕祭の開催について</p>			

	<p>⑩特別展「本に押し潰されて死ねば、本望です～南吉と読書～」の開催について</p> <p>⑪対談講演会「『文豪』コンテンツとこれからの新美南吉記念館」の開催について</p> <p>⑫「新美南吉記念館だより」第 225 号の発行について</p>
各課事務連絡	特になし

＜議事録＞

<p>1. 前会の会議録の承認</p>	<p>(事務局) 5月定例会の会議録について概要説明 → 承認</p>
<p>2. 教育長報告</p>	<p>(教育長) 5月の定例教育委員会から今日までの行事等について報告する。 5月27日、総合教育会議に出席いただき感謝する。総合教育会議は、市長と教育委員会との協議の場であるはずが、教育委員から教育委員会事務局への質問が多く、こういったやり取りは、本来はこの定例教育委員会でもっと時間をとってやれるといいことだと感じた。 27日、横川小学校体育館に設置された空調が稼働する様子を見てきた。横川小学校では、子どもの居場所事業として、今年度から放課後児童クラブを校舎内の教室で実施しており、それに伴って設置したもの。安価な設備だが、十分涼しく、快適な環境で体育の授業ができるようになりありがたい。 28日、校長面接ということで年度始めにすべての学校長と面接をしている。今年度の学校経営方針やそれに込めた思い、数か月経って先生方の様子などを面談で確認している。どの学校も、教育委員会から出した重点目標を参考にしつつ、それぞれ特徴のある取り組みをしようと頑張っている。 31日、商工会議所議員総会において、昨年度に引き続き、半田中学校がキャリア教育の一環として地元企業との繋がりを持って取り組んだことを発表した。商工会議所の会員50人以上の前で発表する機会をいただき、良い発表ができたと思う。 一例として、半田警察署とのやり取りの中で、子どもたちから闇バイトについてもっと対策を啓発していったほうがいいという意見が出て、8月3日を「闇バイト防止の日」と制定した。半田警察署が啓発ポスターを募集し、8月3日に表彰式を実施する。本当にいい経験をさせてもらっている。 6月16日、市民管弦楽団のファミリーコンサートが開催され、立ち見が出るぐらいの超満員となった。取り上げた楽曲がジブリやディズニーだったこともあってか、親子連れが多かった印象。先日の市役所前で開催したバスケの3×3や赤レンガ建物での音楽マルシェなどのイベントもたくさんの方が来ていただいており、本当にありがたい。 17日、水泳授業の視察として、今年度から実施しているエスティ（亀崎小学校）とふれあいプール（成岩小学校）へ行った。温水であること、天候に左右されないこと等、いい環境で実施できている。移動のバスも特に問題なくできていると聞いている。プールの事業者にも話を聞いたが、子どもたちが一生懸命やっており、できる限りお手伝いしたいとの言葉もいただいた。貸切で授業を実施しているので、自由時間に滑り台で遊んだりすることもできて楽しそうにしていた。 25日、半田高校附属中学の教職員向け説明会が開催された。知多管内から120名ほどの参加があった。すでに公表されている内容を改めて説明するものだったが、先生方の関心の高さが伺えた。なお、保護者</p>

	向けは8月25日に開催される。
<p>3. 議題</p> <p>■報告事項</p> <p>1) 令和6年6月半田市議会定例会の報告</p>	<p>(教育部長)</p> <p>6月の定例会の一般質問のうち、教育委員会に関する質問について報告する。</p> <p>公明党の坂井美穂議員からは、主題1「子宮頸がんから子宮と命を守る取り組みについて」、要旨5「子宮頸がんから子宮と命を守る全庁的な支援について」、質問1「ワクチン接種の対象年齢である中学校でのがん教育で、継続的に子宮頸がんの予防についての教育を推進していただくしくみを作っていただきたいと思うが、いかがでしょうか」と質問があった。</p> <p>答弁としては、市内中学校では、学習指導要領に基づき、保健体育の授業の一環として、子宮頸がんを含む様々な「がん」について、それぞれの特性や予防対策、治療方法などについて学習する。また、これらの学習を補完する取組として、毎年、半田病院と連携し、「がん」について幅広く学ぶ出前授業を実施しており、その中で、子宮頸がんの予防などについても触れている。これらの取組がさらに充実したものとなるよう、今後も引き続き努めていくと説明した。</p> <p>創造みらい半田の竹内功治議員からは、主題1「いつでも」「どこでも」「簡単」「便利」な、「デジタルシティ・はんだ」を目指した取組について、要旨2「教育の分野におけるDXの推進について」、質問1「AI搭載型ドリルを導入されたが、現状における成果と課題について伺う」と質問があった。</p> <p>答弁としては、本市では、今年度より、タブレット端末で利用できる学習教材として、AI搭載型ドリルを全校に導入し、一人ひとりに個別最適化した学習を進めている。まだ導入して間もないため、具体的に数値などでお示しできる成果はないが、授業などで子どもたちが熱心にドリル学習に取り組む姿が見られ、また、教員からは、「子どもたちの学習進捗が容易に把握できる」など、好意的な意見が届いている。しかしながら、AI搭載型ドリルの利用については、未だ学校間に差があるため、利用頻度の低い学校への活用促進が課題であると認識していると説明した。</p> <p>質問2「オンラインによる授業や様々な交流について、現状どのように取り組んでいるか」に対しては、オンライン授業については、全校で、病気やケガで自宅療養中の子どもたちなどに向けて、授業内容などを配信できる環境を整えており、個々のニーズに応じて取り組んでいる。オンライン交流については、一部の学校で試行的に海外の学校との交流授業を実施しており、また、ICTを利用してネイティブ・スピーカーの英語指導助手であるALTとの対話機会を増やす取組も予定している。今後も、オンラインの良さを生かして有効に活用していくと答弁した。</p> <p>質問3「動画や音声などで理解が深まりやすいデジタル教科書について、現状どのように取り組んでいるか」に対しては、本市では、今後のデジタル教科書の普及拡大を見越し、教員用の教科書について、小学校</p>

は今年度から、中学校は来年度から、全教科デジタル教科書に切り替えることとしている。これは、先ず、教員がデジタル教科書について習熟し、指導準備を進めることで、将来的なデジタル教科書の本格利用に備えたいとの考えによるものである。なお、現在、国の実証事業により、英語は全ての小中学校に、その他の教科は一部の学校に、子どもたち用のデジタル教科書が無償提供されており、本市では、主に紙の教科書を使いながら、デジタル教科書の課題の洗い出しなどを行っているところだと答弁した。

質問4「教職員の負担が多いことが問題になることがあるが、DXを活用した負担の軽減は行っているか」に対しては、一例として、保護者との連絡用アプリによる欠席連絡受付や、タブレットによる学習課題の一斉配信と回収、AI搭載型ドリルによる小テストの自動作成と採点など、教育DXの推進は確実に教職員の負担軽減につながっている。今後も、DXを推進し、教職員の負担軽減を図ると答弁した。

質問5「教育の分野は早くからDXを推進されてきたが、今後どのように取り組んでいくか」に対しては、教育DXの目的は、ICTを最大限活用し、子どもたち一人ひとりに最適化した学びや、他者との交流・意見交換などを通じた協働的な学びを一体的に進め、「主体的・対話的で深い学び」を実現することにある。本市では、有識者による教育DX会議や、現職教員によるICT未来創造会議などにより、先進事例の研究や各学校の取組の情報交換などを定期的に行っている。今後も、これらの会議の中で、半田市における教育DXのあり方などについて議論を積み重ねながら、一步一步、確実に教育DXに取り組んでいくと答弁した。

(桂委員)

AIドリルの件について、中学生保護者から聞いた話だが、復習するために小学校の問題をやろうとしてもできなかったと聞いた。どういった機能となっているのか。

(指導主事)

機能としては、全員が小1から中3までの全部を学習できるようになっている。

(桂委員)

うまく使えてないということか。

(指導主事)

おそらくそうだと思う。極端なことを言うと、小1の子が中3の問題に取り組むこともできるし、逆に中3の子が小1まで戻ることもできる。AIの性能は、例えば数学だと、つまずいたところを分析して、適切な単元まで戻って問題が出るような仕組みになっている。

(教育部長)

差し支えなければ、どこの学校で聞いた話が教えていただけるか。

(桂委員)

半田中学校。

(正村委員)

同じ話ではないかもしれないが、青山中学校の保護者からも聞いた。画面のどこかに達成度として100%になるようなものがあるようで、それを目指してやっていると、最初は10分程度で100%になって楽しくできていたものが、だんだん時間がかかるようになり、2時間かけてやっと終わったときには子どもが疲れてしまったよう。

また、先ほど桂委員がおっしゃられたように、中1で割り算がわかってない、掛け算がわかってない、と親が思っても下の学年の問題には戻れないという話も聞いた。

その保護者は学校にも伝えたそうだが、もう少し様子を見てほしいと言われ、様子を見てもらえないということで私に話をしたと思う。一部の子どもたちが困ってしまっている。

(指導主事)

使い方の問題と機能面の問題があると考え。あるいは、そこ(割り算、掛け算)につまずいていないという分析がされているのかもしれない。機能面については、一度 Qubena (キュビナ: AIドリル)にも確認する。

(正村委員)

ある程度の時間や問題数で達成感が得られるようにしてほしい。集中力が続かずイライラしてしまうこともある。これが夏休みの宿題になると、ちょっと疲れてしまうかもしれない。

(指導主事)

おそらくAIの分析によって明確にいろいろわかってくる。そういう仕組みや使い方を先生方が覚えていかないといけない。たくさん取り組もうとすれば、ずっとできる。

(正村委員)

情報をくれた保護者も教頭先生には伝えたとおっしゃっていたので、学校も現状はわかっていると思うが、担任の先生方まで周知されているかがわからない。

(指導主事)

多くの人が理解して Qubena を使っていけるようフォローアップ研修の実施を考える。

(教育長)

	<p>使い始めたところであり、課題も出てくると思うが、子どもの声をできるだけ拾って進めてほしい。</p>
2) 寄附、後援願等	<p>(学校教育課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附 2件 ・共催 7件 ・後援名義使用許可 26件
3) 令和6年度半田市教育研修会・講演会	<p>(主任指導主事)</p> <p>半田市教育研修会について、本年度は乙川中学校を会場に、8月23日(金)・26日(月)の2日間で、38講座を開催する。教職員は、この38講座から、自分が課題として考えていたり興味があったりするテーマを2つ選択し、受講する。</p> <p>続いて、半田市教育講演会については、昨年度ご講演いただいた工藤勇一先生と日程調整を進めていたが、大変お忙しいこともあり、調整がつかなかった。</p> <p>しかしながら、学校教育課としては、先ほどの研修会と講演会を併せ、前後1週間を幸せ教育研修週間と位置付けていた。その中で、研修会で各自の課題について学びを深めるとともに、講演会で、市全体として、現在の学習指導要領で求められている主体的対話的で深い学びや個別最適な学びについての理解を深め、画一的な一斉授業から児童生徒が主体となる学びへの意識転換を図る、貴重な機会だと考えていた。そのため、先生方の学びとして、講演会も実施する。日時は、8月29日(木)午後、会場は、アイプラザ半田 講堂、講師は、京都大学大学院教育学研究科 准教授 石井英真(てるまさ)先生である。石井先生は、次期学習指導要領の在り方を議論している、文部科学省の「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会」の委員を務められているなど、現在・そして今後の学校教育の在り方について深く理解をしてみえる。開始時間は、14時もしくは14時半で調整中であるため、決まり次第、報告する。</p>
4) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等	<p>(教育長)</p> <p>個人情報を含む案件であるため、半田市教育委員会会議規則第15条第1項の規定に基づき、非公開としたいがよろしいか。</p> <p>(教育委員)</p> <p>異議なし</p> <p>(教育長)</p> <p>非公開とするため、傍聴者の方は、一時退席ください。</p> <p>～ 傍聴者一時退席 ～</p> <p>(指導主事)</p>

	<p>令和6年5月21日～令和6年6月21日の交通事故・問題行動等について。</p> <p>交通事故：3件 5月27日（月） 1件 6月 3日（月） 1件 6月18日（火） 1件</p> <p>問題行動（被害）等：7件 5月28日（火） 1件 6月 8日（土） 1件 6月10日（月） 2件 6月11日（火） 1件 6月12日（水） 1件 6月19日（水） 1件</p> <p>交通事故以外の事故：8件 5月22日（水） 2件 5月25日（土） 1件 6月 4日（火） 1件 6月12日（水） 2件 6月13日（木） 1件 6月20日（木） 1件</p> <p>学校等被害：0件</p> <p>不審者情報：1件 6月10日（月） 1件</p> <p>（学校教育課長） 新聞報道のあった中学生の自殺に係る背景の詳細調査実施について概要を報告する。 報道にあったとおり、外部専門家による調査委員会を設置することとして準備を進めている。 今後、遺族の意向を聞きながら委員の選定を進め、調査の方法や調査の期間、調査内容の公表等について、調査委員会の中で委員が議論を重ねて決定していく。</p> <p>～ 傍聴者再入室 ～</p>
<p>5) 半田市学校給食運営協議会委員の委嘱</p>	<p>（給食センター所長） 学校給食運営協議会は、「半田市学校給食運営協議会条例」に基づき設置されており、教育委員会の諮問に応じて、学校給食の運営に関する必要な調査及び協議を行う機関である。 任期については、条例の規定により2年間。ただし、役員の交代など変更があった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間となる。 今回は、役員の交代や人事異動に伴う者8名の委嘱となる。前任者</p>

	<p>の残任期間となる令和6年7月31日までをお願いする。</p> <p>なお、各委員は、名簿の所属・役職等の欄に記載の所属団体の役職者の方をお願いをしている。</p>
6) 半田市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱	<p>(給食センター所長)</p> <p>半田市食物アレルギー対応委員会は、学校給食における食物アレルギー対応の方針を検討するとともに、児童生徒の学校給食における食物アレルギー対応に関する専門的な役割を果たすことを目的とした機関である。</p> <p>任期については、要綱の規定により2年間。ただし、役員の交代など変更があった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間となる。</p> <p>今回は、役員の交代や人事異動に伴う者4名の委嘱となる。前任者の残任期間となる令和6年8月31日までをお願いする。</p> <p>なお、各委員は、名簿の所属・役職等の欄に記載の所属団体の役職者の方をお願いをしている。</p>
7) 令和6年度地区公民館職員の異動	<p>(生涯学習課長)</p> <p>2つの公民館で主事の異動があったので報告する。</p> <p>上池公民館については、主事の竹内千夏氏が5月末をもって退任され、後任として7月1日付で、古田久美子氏を選任し、委嘱する。</p> <p>岩滑公民館については、主事の古市きみ子氏と森泰男氏が6月末をもって退任され、後任として7月1日付で近藤みさき氏と榊原喜久雄氏を選任し、委嘱する。近藤氏は岩滑区で働く友人の紹介により、榊原氏は現館長の声かけにより決まったもの。</p>
8) 第78回半田市スポーツ大会の日程	<p>(スポーツ課長)</p> <p>「半田市スポーツ大会」は通称「半田祭」と言われているもので、非常に歴史のある大会である。</p> <p>概ね、知多地区からの参加者を対象に、半田市教育委員会と半田市スポーツ協会の主催で開催し、一般の部は20種目、中学生の部は14種目、そして、その他のシニア・レディス・小学生の部は3種目について実施される。</p> <p>日程、会場や参加料は記載のとおりで、今後、市報やHPなどで参加者を募り、実施していく。</p>
9) はんだシティマラソン2024の開催	<p>(スポーツ課長)</p> <p>はんだシティマラソンは「はんだスポーツの日」である11月の第一日曜日に開催しているが、今年は11月3日(日)に開催する予定である。一昨年から採用し、好評であったリレーマラソンと従来からの個人競技、そして今回からコロナ以前にありましたジョギング部門も再開する。要項に記載のとおり時間をずらしてスタートする。ウォーキングを除く全ての部門が半田びよログスポーツパークと一部公道を用いたコースで展開する。</p> <p>なお、申込は先着順で7月1日から募集を開始する。参加料は記載の</p>

	<p>とおりで、小中学生の部門は、参加料は無料としている。 今後、市報やHPなどで参加者を募り、本事業を進めていく。</p> <p>(桂委員) 中学生は、中学生3km部門とジョギング部門のいずれにおいても無料となるのか。</p> <p>(スポーツ課長) お見込みのとおり。小中学生は、どの種目に参加しても無料となる。</p>
<p>10) 愛知駅伝 半田市代表選手 の募集及び練習 会等</p>	<p>(スポーツ課長) 愛知駅伝は2005年に開催された愛知万博を記念して、2006年から毎年12月の月上旬に万博会場の跡地である「モリコロパーク」で開催されている。 今年度の大会は、令和6年12月7日(土)を予定しており、モリコロパーク内の全9区間のコースで、小学生から一般までの選手達で県内の市町村対抗戦で実施される。 については、今年度も選手を募集し、半田びよログスポーツパークで実施する選考練習会を経て代表選手を選出する。6月12日現在、約150名の申込みがあり、6月8日の第1回練習会には約70名の参加があった。なお、選手募集は随時実施している。</p>
<p>11) 半田市立 図書館及び半田 市立亀崎図書館 の休館</p>	<p>(図書館長) 休館日について、2点報告する。 1点目は県民の日学校ホリデーに伴うもの。半田市の小中学校は11月25日(月)を学校休業日としているが、この日は本来図書館は休館日となっているため、この日を開館して次の日を休館する。 2点目は、例年行っているが、特別整理期間として蔵書の整理を行うため、令和7年1月29日から2月5日までの8日間を休館とするもの。</p>
<p>12) 各種事業 ①「ものづくり 教室」の開催 ②「まなびとゼ ミ 夏いち体験 講座」の開催 ③「令和6年度 子ども科学体験 教室」の開催</p>	<p>(生涯学習課長) 案内する3点の事業は、すべて子どもたちの夏休みの体験活動や学びに繋がる行事となっている。「ものづくり教室」の対象は小学校5、6年生、「まなびとゼミ」は幼児、小中学生親子向け、「子ども科学体験教室」は小学生となっている。 特に子ども科学体験教室については、協力していただく企業や団体が11あり、非常にありがたい。さらに、半田市水道組合からも協力したいとの声があるため、調整が間に合うようであれば今年度から参加していただく。 また、次年度はスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けている半田高校や、半田商業高校にもアプローチをしていきたい。</p>

④【第2期】スタンプラリー	<p>(スポーツ課長)</p> <p>教育委員会の中のスタンプラリーである。教育委員会の各課で繋がりながらイベントラリーとして開催するもので、第2期としているが、第1期は4月から6月まで実施していた。今回は、7月から9月までの各課や館のイベントを対象として実施する。</p>
⑤新美南吉読書感想画コンクール	<p>(図書館長)</p> <p>例年開催しているもので、南吉作品に親しみ、その感想を絵画に表現してもらうものである。対象は市内小中学校の児童生徒としている。</p> <p>なお、昨年度の実績は、小中学生合わせて1,678点の応募をいただいた。</p> <p>入賞発表については、12月8日に図書館にて表彰式を行う予定にしている。入賞作品は、図書館、博物館及び新美南吉記念館において提示を予定している。</p>
⑥「夏休みは図書館へ行こう」(夏休みの図書館行事)	<p>(図書館長)</p> <p>夏休み期間中は図書館が子どもたちで賑わうので、イベントを開催し、図書館に親しんでもらおうという思いで企画している。</p> <p>なお、このイベントとは直接関わりがないことだが、図書館は通常は午前10時から午後7時までを開館時間としているが、夏休み期間中は1時間前倒して午前9時から開館している。</p>
⑦博物館講座「化石を発掘しよう!～木の葉化石編～」	<p>(博物館長)</p> <p>この講座は昨年も非常に好評だった講座で、自分で数十万年前に堆積した栃木県那須塩原市の岩石ブロックを割って化石を見つける講座となる。見つけた化石は持ち帰ることができ、化石についての基礎知識や知多半島で見つかる化石等についてもわかりやすく解説する。</p> <p>8月10日(土)に定員30名程度として開催する。</p>
⑧旧中埜家住宅オリジナルポストカード・飛び出すカード型紙のプレゼント	<p>(博物館長)</p> <p>7月7日(日)から31日(水)までの間、博物館にお越しいただいた希望者の方に、旧中埜家住宅のオリジナルポストカードやメッセージカードとして使用できる飛び出すカードの型紙をプレゼントする。</p> <p>ポストカードは市民の方が描いたイラストを作品として使用し、飛び出すカードはお子様にも簡単に作れるよう制作している。</p> <p>旧中埜家住宅の魅力を皆さんに知っていただくきっかけにしたい。</p>
⑨新美南吉生誕祭の開催	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>7月30日は、南吉の111回目の誕生日であり、これを記念して7月27日から30日まで新美南吉生誕祭を開催する。</p> <p>27日(土)の夜は、岩滑・岩滑新田の山車組と岩滑盆踊唄保存会の協力を得て、「正八ちゃんの宵祭り」を開催する。縁日も出て楽しく南吉さんの生誕祭を盛り上げる。</p> <p>誕生日当日は、10時より合唱や献花などによる「南吉さんの日」式</p>

	典を行う。
⑩特別展「本に押し潰されて死ねば、本望です～南吉と読書～」の開催	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>新美南吉は中学生時代の日記に、将来お金を稼げるようになったら「書籍で壁を作ろう」と書いたように、本が大好きで、古今東西のあらゆる本を読み漁りました。結核で亡くなる前、見舞いに来た先輩に、こんな貧弱な本棚にぎっしり本を詰めていたら危ないじゃないかと言われると、「本に押し潰されて死ねば、本望です」と語ったそう。そんな南吉の旺盛な読書と、日記に記した、さまざまな文豪たちへの評価などを紹介する展示会である。</p> <p>今年、南吉記念館は開館30周年を迎えるが、これまでのスタンダードな企画の殻を破ろうと、初めてゲーム「文豪とアルケミスト」とのタイアップに取り組む。「文豪とアルケミスト」とは、テレビアニメ化もされた人気ゲームで、さまざまな文豪たちがキャラクターとして登場するのだが、そのなかに南吉も含まれる。</p> <p>チラシ表紙の、女の子のように見えるキャラクターが南吉で、今回の展示のために岩滑の生家の前に立たせて描きおろしてもらった。ただし、南吉といっても、作家新美南吉そのものではなく、南吉やその作品をイメージして作られたもので、宮沢賢治をはじめ児童文学作家はすべて、児童文学ということで子どもの姿をしている。南吉の性格は、ごんぎつねのイメージから、いたずら好きの設定になっている。</p> <p>この文豪とアルケミストのファンはとても熱心で、文学館がタイアップ展をすると、日本中から大勢訪れ、また自分の推しの作家の本当の姿を知りたい、と非常に熱心に見て行ってくれるそう。</p> <p>そうした新しい南吉ファンの期待にも応えると共に、半田市民もこのキャラクターを見て「え？」と思うでしょうから、それをきっかけに普段は無関心な人たちや若い世代に関心を持っていただけたらと考えている。</p>
⑪対談講演会「『文豪』コンテンツとこれからの新美南吉記念館」の開催	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>特別展の関連企画として、8月24日(土)に知多信用金庫のほしざきホールにて、大学教授とゲームプロデューサーによる対談講演会を開催する。「文豪」というコンテンツの意味や価値が現代においてどう変わってきているのか?その変化のなかで、これから新美南吉記念館がどうしていけばいいのか?を考える内容となっている。いつもの講演会とはかなり毛色が違うが、きっと面白いものになると思う。</p>
⑫「新美南吉記念館だより」第225号の発行	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>少し時間が経ったが、貝殻忌や、「南吉のセンス・オブ・ワンダー展」と連動した端午の節句行事の紹介を載せている。また3ページには新美南吉顕彰会が制作した新美南吉記念館開館30周年記念動画の記事もある。この動画はCACの協力を得て、これまでの記念館の歩みを懐かしい昔の映像と共にご紹介するものである。QRコードからYouTube</p>

	<p>で見ることができる。</p>
<p>各課からの事務連絡（１）</p>	<p>（博物館長）</p> <p>報告事項で図書館の休館日の報告があったが、博物館においても図書館と同じく、１１月２５日を開館、１１月２６日を休館とする。</p>
<p>教育委員からの意見提言等（１）</p>	<p>（桂委員）</p> <p>先日、半田中学校の教育支援センター「Ｉルーム」を正村委員と見てきた。生徒のいない時間帯だったので普段の様子は見ていないが、先生からの話を聞いて、子どもたちが安心して過ごせる場所と感じた。Ｉルームでエネルギーを蓄えて、自分のことや周りのことに目を向けていけるといい。毎日、振り返りをしているようで、その振り返りの内容からも内面が変わっていく様子が聞けた。</p> <p>また、地域の方もたくさん関わっているとの話もあった。Ｉルーム担当の先生だけでなく、他の先生もよく顔を出すようで、たくさんの人に見守られている温かい場所だと感じた。Ｉルームの担当になったことで不登校についての理解が深まったとの話もあり、先生の気づきにもなっているよう。周りの先生方にも共有して行ってほしい。</p>
<p>教育委員からの意見提言等（２）</p>	<p>（正村委員）</p> <p>新美南吉記念館で開催していたセンス・オブ・ワンダーをすべての先生方に見てもらいたい。「感じる」ことが伝わると思う。私自身はすごく感動した。</p> <p>先生方はいつでも無料で入場できるようにはできないか。</p> <p>（新美南吉記念館長）</p> <p>学校の先生は、教師としての研修のためだと申し出ていただければ、いつでも無料で入館していただける。</p>
<p>教育委員からの意見提言等（３）</p>	<p>（新美委員）</p> <p>先日、エスティでのプール授業を見てきた。子どもたちにも話を聞いたが、ほぼ全員が「こっちのプールのほうがいい」との声があり、好評だった。エスティとしても、前向きに受け入れていきたいとのことだった。</p> <p>（正村委員）</p> <p>見学者がいるときに、先生が一人つかなければいけないのが負担になっていると聞いた。みんながバスで民間事業者のプールに移動したあとで遅刻して学校へ来た子や、プールで調子が悪くなった子の対応に困っているという話も聞いた。地域の力を借りて解決できることなのか。</p> <p>（教育長）</p> <p>見学者への付き添いについては、学校のプールを使うときも同じよう</p>

	<p>に付き添いが必要となるので、やむを得ないと考える。緊急時の対応は、考える必要がある。</p>
<p>教育委員からの 意見提言等 (4)</p>	<p>(新美委員) 部活動改革について、現状、学校からどのような案内をしているのか。</p> <p>(主任指導主事) 学校教育課とスポーツ課、5中学校の校長とで調整のため話し合いの場をもった。また、各学校でスポーツクラブの事務局と学校担当者での調整会議を進めてもらっている。</p> <p>今後は、9月からガイドラインに移行するが、今年度のみ9月以降の半田祭に学校部活動として参加するため、各学校の部活動で、まずは半田祭に出る種目の担当者とスポーツクラブの指導者とが直接話して、施設の利用が重複しないよう調整している。</p> <p>全体的話し合いは適宜進んでいる。</p> <p>(新美委員) 保護者、特に影響の大きい1, 2年生の保護者にはどのような案内をしているのか。</p> <p>(主任指導主事) 各学校ごとでの案内になる。基本的な流れは、市HPに掲載しているとおり。学校によっては、部活動を縮小していくところもある。</p> <p>スポーツクラブで受け皿になる種目がない場合など、地域ごとに状況が異なるため、各学校により今後の動向が微妙に異なる。一律でということになると、HPの内容のとおり。</p> <p>現状の課題として、今回の移行の話が部活動顧問の先生方にしっかり伝わっていないのではないか、理解が不足しているのではないかと感じることもある。</p> <p>(新美委員) 半田中学校の保護者から聞いた話だが、「自分たちでHPを見て、自分たちで選んで参加してください」と丸投げされているように言われていると感じている。一方、乙川中学校の剣道部は、顧問の先生から生徒と保護者を集めて説明会があったよう。</p> <p>部活動改革のHPを見ると、例えば亀崎地区の受入団体は、陸上、バレー、柔道しかない。これ以外の種目を部活動でやっている子はどうするのか。他の地区の団体に参加することはできるのだろうが、保護者がどこまで理解しているのか。メールで2回程度リーフレットが送られてきてはいるようだが、大半はよく理解できていないのではないかと心配している。夏休み前に改めて周知をしてほしい。</p> <p>(主任指導主事)</p>

	<p>難しいのが、今年度だけ半田祭に参加する種目があること。ガイドラインと異なり、一部は部活動として9月以降も延期されるため、スポーツクラブの活動について9月からのスタートが難しいところもある。</p> <p>まずは半田祭に参加するということを意識してもらって、地域スポーツクラブと話し合いを進めている。実際に活動している生徒や保護者が地域スポーツクラブ移行に対して不安にならないよう、アナウンスするよう担当者から各学校へ案内する。</p> <p>(教育長) 誤解を招くことのないよう、しっかり説明して行ってほしい。</p>
次回開催等	<p>(事務局) 7月定例教育委員会 日時：7月24日(水) 10時00分～ 場所：半田市役所4階 庁議室</p> <p>(教育長) 6月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 12時00分 〉